

# 令和4年度熊野古道協働会議・第3回分科会 Aグループ（持続可能な保全体制づくり）

1. 分科会の目的・参加者・スケジュール	p.2
2. 第1回・第2回分科会の振り返り	p.5
3. サポートズクラブ・一斉クリーンアップ作戦 (第1回・第2回分科会でのご意見を受けて改善した取組の報告等)	p.7
4. 先進事例のさらなる共有（担い手確保・資金確保）	p.13
5. 意見交換	p.17
(1) 保全活動の望ましいスタンダード（標準）とは	
(2) 工程表（案）	
(3) 公的な財政支援	

令和4年12月23日  
熊野古道協働会議事務局 作成

1

## 1. 分科会の目的・参加者・スケジュール

### ● 分科会の目的（熊野古道アクションプログラム3 追記編）

世界遺産登録25周年を迎える年には、伊勢路全域で**持続的な保全の仕組み**が構築されていることをめざし、分科会で検討し**工程表を作成**します。

- 関係団体の担い手確保  
企業のCSR活動によるご協力を得るなども含めた**新たな担い手確保策の積極的導入**や、臨機応変に保全活動を支援できる仕組みや方法についても検討します。
- 保全活動に係る資金確保  
クラウドファンディングなど**あらゆる資金確保策**を検討します。
- バッファゾーンの森林管理のあり方

2

# 1. 分科会の目的・参加者・スケジュール

## ● 分科会の参加者

座長 玉津 充 氏 (海山熊野古道の会)

副座長 西山 光雄 氏 (二木島峠・逢神坂峠世話人会)

奥村 清司 氏 (熊野古道伊勢路を守る会)

三重県教育委員会 社会教育・文化財保護課

委員 熊野古道伊勢路沿線市町の文化財保護担当課

(伊勢市、玉城町、多気町、大台町、大紀町、紀北町、尾鷲市、熊野市、御浜町、紀宝町)

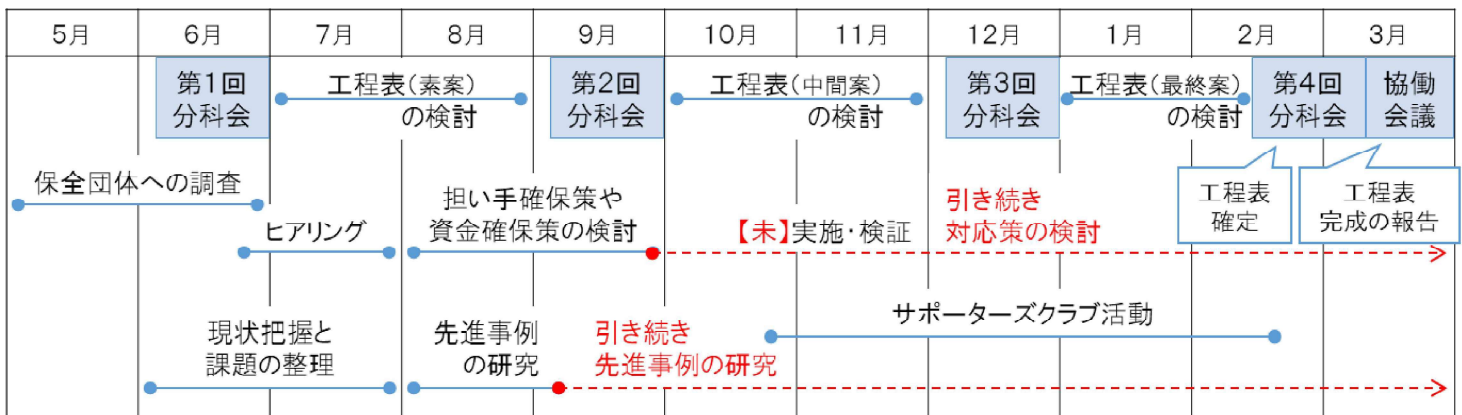
一般社団法人東紀州地域振興公社

三重県 (紀北地域活性化局、紀南地域活性化局、南部地域活性化局)

\* コアメンバーのほか、熊野古道伊勢路にご関心のある方は、どなたでも参加できます。

# 1. 分科会の目的・参加者・スケジュール

## ● 分科会のスケジュール



\* 当初の想定スケジュールを修正し、引き続き、担い手確保策や資金確保策の検討、先進事例の研究を行います。

## 2. 第1回・第2回分科会の振り返り

### ● 第1回分科会（6/29）での意見交換の概要

- 各保存会の活動状況について情報共有
- 保全の体制（活動状況）・財源に「違い」があることを改めて認識
- 保全活動の課題について意見交換
  - ▶ 担い手確保：ボランティアの受け入れや、保全を統括する組織についての意見など
  - ▶ 資金確保：行政の補助金による支援についての意見など
  - ▶ まとめ：どのような資金支援、人的支援、物的支援があるかを明らかにすることとなった。

\* 詳細は「参考資料1：第1回分科会 発言要旨」をご参照ください。

5

## 2. 第1回・第2回分科会の振り返り

### ● 第2回分科会（9/13）での意見交換の概要

- 各峠の行政による補助金やパトロールの実施状況について情報共有
- 「担い手確保」と「資金確保」に関する先進事例の共有
- 保全活動の課題について意見交換
  - ▶ 熊野古道サポーターズクラブ：  
一斉保全活動での団体間の連携や、世話人の養成についての意見など
  - ▶ 伊勢路全体の保全を統括する組織：  
目指す保全のレベルや、新組織のあり方についての意見など

\* 詳細は「参考資料2：第2回分科会 発言要旨」をご参照ください。

6

### 3. サポーターズクラブ・一斉クリーンアップ作戦

#### ● 熊野古道サポーターズクラブの取組紹介

清掃ウォーク等のサポート活動に参加していただいた会員の方に、「サポート会員カード」や「特別サポート会員シール」を送付するとともに、ノベルティをプレゼント



### 3. サポーターズクラブ・一斉クリーンアップ作戦

#### ● 熊野古道サポーターズクラブの活動報告

10/23 (日) : 大吹峠で22名が参加

11/26 (土) : 始神峠で28名が参加 (保全団体等を含む)

- 三重県ホームページに活動報告を掲載しています。

<https://www.kodo.pref.mie.lg.jp/supportersclub/report/index.html>

- 大吹峠では、ごみ拾いや看板の拭き掃除等のほか、**石畳道の補修**を行いました。峠道の状況に応じて、道普請にも取り組んでいきます。




#### 【第1回分科会でのご意見】

- サポーターズクラブは、草刈りや枝拾い等の清掃ウォークだけでなく、道普請も継続的にやってみてはどうか。

### 3. サポーターズクラブ・一斉クリーンアップ作戦

#### ● 熊野古道伊勢路一斉クリーンアップ作戦の活動報告

12/11（日）：9か所の峠で計 約140名が参加（保全団体等を含む）

- 参加団体名を三重県ホームページに掲載しています。  
<https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0004900129.htm>



- 外部ボランティアとして、サポーターズや地元高校生のほか、**他の保全団体からの応援者**も参加していただきました。（二木島峠・逢神坂峠での活動に、だんだんの会から3名）

#### 【第2回分科会でのご意見】

- 一斉保全活動で団体間の連携ができる体制があれば、より団体間の交流が深まるのではないかと。

9



### 3. サポーターズクラブ・一斉クリーンアップ作戦

#### ● メディア取材

##### （始神峠清掃ウォーク）

- 荒れた始神峠道整備、紀勢新聞、2022.11.30
- 始神峠で清掃ウォーク、南海日日新聞、2022.12.6

##### （一斉クリーンアップ作戦）

- 三重 熊野古道伊勢路の一斉清掃、NHK  
<https://www3.nhk.or.jp/tokai-news/20221211/3000026430.html> 
- 世界遺産・熊野古道で清掃活動 高校生ボランティアなど参加、中京テレビ  
<https://www.ctv.co.jp/news/article/?891d2be4b42d4b0da78b3586f13a8f8a> 
- 紀勢新聞、南海日日新聞、南紀新報、ヨシクマ新聞

10

### 3. サポーターズクラブ・一斉クリーンアップ作戦

#### ● 熊野古道サポーターズクラブの活動予定

1/14（土）：女鬼峠（女鬼峠保存会）

1/25（水）：三瀬坂峠（三瀬坂峠を守る会） ←平日の開催を試行

2月：二木島峠・逢神坂峠（二木島峠・逢神坂峠世話人会）

- これまでは休日に活動日を設定していましたが、平日の方が活動しやすい保全団体もあることから、**平日の開催**を試して、参加者の集まり具合などを確認します。

#### 【第1回分科会でのご意見】

- サポーターズクラブは、活動日が土日に限られるが、平日の方が都合のよい保全団体では受け入れが難しい。

11

### 3. サポーターズクラブ・一斉クリーンアップ作戦

#### ● 熊野古道サポーターズクラブの新たな取組（案）

- 参加者の同意を得たうえで、参加者名・企業名を三重県ホームページに掲載する。 ←インセンティブの提供
- 活動終了後に参加者と保全団体との交流会を開き、顔の見える関係づくりにつなげる。
- サポーターズクラブの活動だけでなく、保全団体が個別の活動日を周知しボランティアを募る仕組みづくり

#### 【第1回分科会でのご意見】

- 参加した成果を広報したり、もっとインセンティブがあればよい。

#### 【R3ヒアリング・アンケートでいただいたご意見】

- 年に1回とかでは、地域と密着しておらず顔が見えない。

12

## 4. 先進事例のさらなる共有

### (担い手確保)

- マatchingサイト【株式会社おてつたび】
- 道普請ウォーク【和歌山県世界遺産センター】 ※第2回分科会で紹介

### (資金確保)

- 寄付金【認定NPO法人フローレンス】
- クラウドファンディング【田辺市熊野ツーリズムビューロー】 ※第2回分科会で紹介
- YAMAP FUNDING【株式会社ヤマップ】 ※第2回分科会で紹介
- 利用者参加制度【北アルプス登山道等維持連絡協議会】 ※第2回分科会で紹介

13

## 4. 先進事例のさらなる共有

### ● マatchingサイト【株式会社おてつたび】

- おてつたび（お手伝い×旅）  
農業や宿泊施設など人手不足の現場で、  
お手伝いをしながら旅を楽しむことができる。
- KDDI株式会社との実証実験



農業の担い手が少なくなり休耕田が増えている長野県中野市にて、KDDIの社員18名が1泊2日で、休耕田の草刈りや伝統野菜の収穫のお手伝いや、ICT（情報通信技術）を活用した持続可能な地域活性に向けたディスカッションを行った。

※費用負担については照会中

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000070.000036175.html>



14

## 4. 先進事例のさらなる共有

### ● 寄付金【認定NPO法人フローレンス】

- 福祉・親子支援事業（病児保育等）を事業収益と寄付者からの支援で行っており、さまざまな方法で寄付を募っている。（令和3年度は7億円の寄付）
  - ▶ 単回寄付：任意のタイミングに合わせて、その都度の寄付が行える
  - ▶ マンスリー寄付：マンスリーサポーターとして、毎月定額を寄付できる
  - ▶ 企画型寄付：売上連動型（商品の売上の一部を寄付する方法）
    - 従業員参加型（給与からの積立寄付、個人寄付に企業が上乗せする寄付など）
    - サービス提供型（チャリティーセール、店頭募金など）
  - ▶ プロジェクト指定型寄付：応援したいプロジェクトを選んで寄付できる  
（プロジェクト例）「障害児保育園ヘレン」安心安全な保育を支える物品等購入支援  
「医療的ケアシッターナンシー」追加訪問による長期休み支援

15

## 4. 先進事例のさらなる共有

### ● 寄付金【認定NPO法人フローレンス】

- ホームページに寄付の活用例、支援事例、支援企業の紹介などが掲載されている。

いただいたご寄付は、親子をとりまく社会問題を根本から解決するため、事業運営や新規事業開発、政策提言やソーシャルアクションなど、フローレンスの様々な活動に大切に使用させていただきます。

500万円~の場合

ご支援事例

**COSTCO WHOLESALE JAPAN**

コストコホールセール  
ジャパン  
株式会社

寄付方法  
マンスリー  
（継続）

寄付内容  
・毎月定額  
休へのみ

ご支援企業の紹介

**Alibaba JAPAN**  
Global trade starts here.

アリババ株式会社

コロナ禍の経済打撃で日本のひとり親家庭がより支援を必要としています。ひとり親家庭と子どもたちの助けになりたいという思いから、日本で最大級の親子支援をしているフローレンスとともに支援の取り組みを開始しました。金銭的寄付や蔓延防止施策に伴う一時的な緊急支援だけでなく、有志を募り、貧

<https://florence.or.jp/lp/donate-csr/>



16



## 5. 意見交換

### ● 意見交換に当たっての前提

- 分科会の今年度の目標は「工程表を作成」することとしており、今年度中に全ての答えを出すわけではありません。
- 今年度は、
  - (1) 現状把握と認識の共有
  - (2) 「担い手確保」と「資金確保」に関するさまざまな手法に関する知識の共有と検討
  - (3) それらを踏まえたうえで今後の「工程表の作成」がゴールと事務局は認識しています。
- 持続可能な保全体制に向けて、来年度以降も検討を続け、議論を尽くした結果として、よりよい姿を構築していく、という流れで進めてはどうかと考えます。

17

## 5. 意見交換（1）

### ● 保全活動の望ましいスタンダード（標準）とは

- 保全活動を通じて目指す伊勢路の姿  
例：「文化的価値が保たれ、安全で快適に歩ける伊勢路」
  - ▶ 落枝落葉が多いと歩きづらいが、どこまできれいにするのか
  - ▶ 石畳がきれいに敷き詰められていなくても、歩くことはできる



#### 【第2回分科会にて】

- 伊勢路で目指す保全のレベルをどこに設定するかを考え、それにより投入する資金、担い手をどれだけ確保するのか、統括する組織はどうあるべきか、議論する必要がある。

18

## 5. 意見交換（2） 工程表（案）

		R5				R6				R7～R11				
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	R7	R8	R9	R10	R11
伊勢路全体の保全を 統括する組織	組織の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 具体的な検討</li> <li>● 組織の体制</li> <li>● 組織の機能</li> <li>● 先進事例の調査</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>● 立ち上げ準備</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>● 立ち上げ</li> </ul>				
		<p>【他地域例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 和歌山県では、世界遺産センターの施設管理者（県直営）が道普請などの保全機能も担っている</li> <li>● 他地域例を引き続き調査</li> </ul>												
サポーターズクラブ	新たな取組のトライアル実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広報やパベルティなどのインセンティブ</li> <li>● ニーズに応じて臨機応変に活動できる仕組み</li> <li>● 継続的な道普請の実施</li> <li>● 熊野古道に関する事前学習との組み合わせ</li> </ul>				新たな取組の本格実施				毎年度検証・改善				
	ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業・団体への協力依頼（先行テスト実施）</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業・団体への協力依頼（先行テスト実施）</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業・団体による協力力をひとまず復活</li> </ul>				
担い手確保		担い手・資金確保の継続検討（一部、先行テスト実施）				組織設置前後からトライアル実施				検証	トライアル実施	検証	本格運用	
資金確保		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業・団体への協力依頼（先行テスト実施）</li> </ul>												

一体的に検討

## 5. 意見交換（3）

### ● 公的な財政支援

- 第2回分科会で共有された各峠の行政による補助金の実施状況を受けて、ご議論された市町があれば、内容をご紹介ください。

\* 詳細は「資料2：補助金およびパトロールの現状」をご参照ください。

#### 【第2回分科会でのまとめ】

- 本日明らかになった、峠によって補助金に濃淡があるという状況を、各市町におかれては持ち帰ったうえでしっかりと認識をしていただきたい。